



学校だより



高島市立マキノ中学校

文責 饗庭一弥

「品位」(ひんい) 「気魄」(きはく) 「和合」(わごう)
～思いやりの心や粘り強さを大切にし、自ら考え、判断し、行動する生徒～



この春、3年生30名、2年生41名に、入学生16名を迎え、全校生徒87名で令和7年度のマキノ中学校の教育活動を始動しました。

マキノ中学校は「すべての生徒をすべての教職員が応援、支援する学校」であると自負しています。私たち教職員の喜びは、子どもたちの成長です。ひとりの子どもの喜びが周りの誰かの喜びにつながるように、学校で学んだひとつひとつの喜びが、生きる力となって、明日に、その先の人生の喜びにつながるようにしていきたいと考えています。

4月8日の入学式では、学校教育目標であり生徒信条でもある「品位」「気魄」「和合」について、全校生徒に向けて、次のようにメッセージを送りました。

『品位(ひんい)』とは、豊かな感性や知性を身につけて、粘り強く自分を高めていこうとする気持ち。『気魄(きはく)』とは、心身を鍛え、何事にも冷静に判断

し、チャレンジしていこうとする気持ち。『和合(わごう)』とは、思いやりの気持ちを大事にし、助け合い、ともに伸びていこうとする気持ち。

「品位」「気魄」「和合」この言葉を中学校生活のよりどころとして、自分自身を高め、「世の中を生き抜く力」をつけてほしいと思います。そして、学校生活や地域・家庭での生活を通して周囲の人々の指導や助言に謙虚に耳を傾けて「生き方」を学ぶとともに、世の中や学校の決まりを守り、お互いが支えあい、高めあうなかで、よい校風を築いていきましょう。（入学式の校長式辞より抜粋）

■令和6年度末の教職員の異動

■令和7年度の職員組織

■部活動顧問

サッカー部・・

卓球部・・・・・

柔道部・・・・・

バレーボール部・・

ソフトテニス部・・

文化探求部・・・・・

教育は人が人を相手にする営みであり、人と人との絆によってことがなされます。その営みの効果を最大限に発揮するためには、家庭、地域、学校が一体となって教育に取り組んでいくことが大切であり、子どもたち一人一人の健やかな成長のための大きな力となります。どうかご支援とご協力をお願いいたします。